

新規参入者のための

有機農業夜間講座・名古屋

有機農業とはどのようなものか？
有機農業をやって行くためには、何が
必要なのか？
有機農業を実践するためのノウハウを知りたい、という方のために、夜間講座を開催します。野菜栽培・稲作の技術を中心に、有機農家の経営と暮らし、流通・販売など、新規就農を果たすために欠かすことのできない分野について、理論だけではなく現場で実践しているプロを講師に招いて開講します。

講座日程		開講時間：2月4日(土)以外は18:30~20:45
日時	講座内容	会場
1/10(火)	新規就農を可能にする条件 講師：石井康弘／(社)全国愛農会会長	ウインクあいち 1109会議室
1/13(金)	有機農産物流通の現状と参入 講師：江端 貴／(株)愛農流通センター社長	ウインクあいち 1209会議室
1/17(火)	有機野菜栽培の基本 講師：佐々木 正／なのはな畑・なのはな畑塾主宰	
1/20(金)	有機野菜栽培のコストと安定生産 講師：村山邦彦／村山農場	
1/24(火)	有機稲作・大豆栽培の基本 講師：西尾勝治／西尾フォレストファーム	
1/27(金)	有機稲作の品質と省力化 講師：鷲野 薫／鷲野農産	
1/31(火)	有機農家の暮らしと経営 講師：服部圭子／GOEN農場	ウイングビル8F シードホール
2/3(金)	有機農産物・加工食品の販売 講師：吉野隆子／ オアシス21オーガニックファーマーズ朝市村村長	オアシス21
2/4(土)	午前：オアシス21オーガニックファーマーズ 朝市村見学	
	午後：有機就農・研修相談会(13:30~16:30)	ウィルあいち セミナールーム6

- 受講料 9,000円 定員30名
- 主催 有機農業参入促進協議会
- 後援 (社)全国愛農会
- 申し込み・問い合わせ (社)全国愛農会
TEL 0595-52-0108
E-mail honbu@ainou.or.jp

- 会場
- ウインクあいち
名古屋市中村区名駅 4-4-38
- ウイングビル 8F シードホール
名古屋市中村区椿町 3-19



- オアシス21
名古屋市中村区東桜 1-11-1
- ウィルあいち
名古屋市中村区上堅杉町1番地

※本講座は平成23年度有機農業総合支援事業(有機農業参入促進事業)の一環として実施します。
※講師プロフィールは裏面をごらんください



1/10火

石井康弘(いしいやすひろ)

(社)全国愛農会会長

1974年愛農高校を卒業後、ノルウェーで1年間農業研修。その後福島県田村市の実家で営んでいた企業養鶏(種鶏)を約3年担った後、東京の愛農食品流通センターに職員として10年間勤務。再び福島に帰り、平飼養鶏を中心とした複合経営を实践。現在は実弟に経営を譲り、奈良県山辺郡葛尾で平飼養鶏800羽、水田5haの有機稲作を中心とした経営。2010年より(社)全国愛農会会長。

1/13金

江端 貴(えばた・たかし)

愛農流通センター社長

愛農流通センターは1970年代、複数の農家が直接消費者に農産物を届ける農家直販をはじめたのがきっかけとなり、生産グループが生まれ、それが母体となって生まれた流通会社。設立は1982年。創設者である池野雅道さんと共に、安心・安全のこだわり農産物流通に長年携わり、2011年同社社長に就任。有機農産物・加工食品の販売(宅配・卸)、各種農産加工など、幅広い事業展開を行っている。

1/17火

佐々木 正(ささき・ただし)

なのはな畑・有機市民農園なのはな畑塾主宰
大学時代農学部で作物専攻。小学校・中学校・特別支援学校の教員をしながらも就農したいという思いをずっと持ち続け、体力のある45歳で就農を決意。退職金で機械とトラックを入手して就農し、現在18年目。畑40aと市民農園20a。露地野菜全般を年間約40種類。受け入れた研修生のうち、3人が就農。現在も7人が研修中。2007年、有機市民農園「なのはな畑塾」を開設、約40組が取り組む。

1/20金

村山邦彦(むらやま・くにひこ) 村山農場
横浜市出身。機械エンジニア、高校教員などを経て農業を志す。当初は自給自足的な農的暮らしをイメージしていたが、1年半あちこちで「農」の世界を肌で感じるうち、「業」=仕事としての「農業」に面白さを見出すようになる。約1年間の研修後、2007年9月三重県伊賀市で新規就農。トマト・小松菜・ホウレン草・葉ネギを中心に150a(うち施設8a)。植物生理の理解に努め、土壌分析を活用して施肥設計を行うなど、科学的なアプローチを重視し、経営も初年度より順調に推移。技術交流や次世代育成にも積極的に携わっている。

1/24火

西尾勝治(にしお・まさはる)

西尾フォレストファーム・
ゆうぎハートネット事務局
高校教員、会社員を経て、実家に戻り岐阜県白川町で就農。しいたけ・米・大豆を中心とした豆を栽培、山仕事も行う。トラストにも力を入れ、大豆トラスト(生産者代表)、はさかけトラスト(米)にも取り組む。白川町の有機農業者の集まり「ゆうぎハートネット」事務局として、新規就農者の支援にも力を入れている。

1/27火

鷺野 薫(わしの・かおる) 鷺野農産

1970年愛農高校を卒業。木曾三川公園のすぐ西、多度の輪中地帯で専業農家として農業に取り組んでいる。水稻2ha、畑作1ha、野菜1.2ha、施設園芸0.2haの複合経営。消費者との交流を大事にして、安心、安全にこだわり、環境にやさしく省力的な農業を模索、実践している。環境に配慮した生産技術として、緑肥作物の利用・機械除草・温湯種子消毒なども取り入れている。主な販売先は愛農流通センターと直販。

1/31火

服部圭子(はっとり・けいこ)

GOEN農場
1986年岐阜県白川町に夫婦で就農。無農薬・有機栽培に取り組み、現在は無肥料栽培。「愛情」と「健康」をキーに作物を作ることので次の展望が見えてくるという考え方から、黒米やエゴマに取り組み、これで子どもの学費も工面。山間で条件のあまりよくない土地なので、なるべく付加価値のあるもの、人が幸せになるものを作りたいということを視点にして農業に取り組んでいる。

2/3金

吉野隆子(よしの・たかこ)

オアシス21オーガニックファーマーズ朝市村長年、有機農業学会などの事務局として有機農業推進に取り組む。2004年、名古屋市東区で有機農家によるファーマーズマーケットを始めて、8年目に入った。NPO法人全国有機農業推進協議会理事、あいち有機農業推進ネットワーク幹事、なごや国際オーガニック映画祭実行委員長。

有機農業夜間講座 参加申し込み

FAX. 0595-52-0109

E-mail honbu@ainou.pr.jp

氏名	ふりがな	住所
		〒
	電話番号	
	FAX または E-mail をお持ちでしたらご記入ください。	

※ご記入いただいた個人情報は、本講座に関する事務のみ利用します。